

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和3年5月28日（金）

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.8

文責：松永 尚子

互いを大切にするととは…

本校の「めざす子ども像」の一つに、「気持ちいいあいさつ」があります。ただ「あいさつをする」ということではなく、「気持ちいいあいさつ」です。ここには、「相手への敬意、相手を大切にしたい気持ち」を込めています。気持ちいいあいさつができ、お互いを大切にしたい仲間として成長して欲しいと思っています。

南関町で幼少期を過ごした北原白秋は、小さい頃、叔父さんから本を読むことの大切さを教えられたそうです。白秋がつくった詩では、「雨ふり」や「待ちぼうけ」「この道」などが有名ですが、今回は「ひとつのことば」を紹介します。

「ひとつのことば」 北原 白秋

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで かなおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつのころを 持っている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく



新年度が始まって約2か月が経とうとしています。子どもたちの生活を見ていると、ときにトラブルが生じます。その原因の一つに「言葉遣い」があります。何気ない一言が、相手を傷つけたり、怒らせたり…。反対に、困っているときのちょっとした声かけや「ありがとう」の一言で、とっても心が温まります。これは、何も子どもだけのことではありません。私たち大人も「ひとつのことば」を大切にしていきたいものです。きれいなことば、やさしいことばをつかうことで、豊かな人間関係を築くことができるのではないのでしょうか。

ご家庭でも、ぜひ、この詩を読んだり、言葉遣いについて話し合ったりしていただければと思っています。



体育委員の活動や6年生の活動から…

24日（月）のお昼の放送を聞いていると、学校での遊びのルールが聞こえてきました。

「体育委員からです。最近、遊具でけがをする人が増えています。なので、今から、正しいルールを言います。1つめ、ブランコは20往復で交代です。2つめ、すべり台は階段がある方からのぼります。3つめは、ボールを使った後は必ず片付けることです。この3つのルールを守りましょう」

この放送も、子どもたちがけがせず楽しく遊ぶためにどうしたらよいか、自分たちで考えて、心を込めて表現しています。このように自分たちの学校を自分たちの手でつくっていく姿、とても素敵だと思います。

また、先週の委員会活動時間に、右の写真のような活動がありました。聞いてみると、これは、廊下で人にぶつからないように右側通行をするためのビニルテープだそうです。また、階段には、6年生手作りの「チンアナゴ」の絵がはってあります。



これも、廊下の右側を通行するためのアイデアだそうです。学校はみんなの手でできています。



ある日の校庭で…

25日（火）、梅雨の中休みでしょうか。晴れ間が見えたこの日の昼休み、校庭には大きな声でドッジボールをする子どもがいました。見ると、1年生から6年生まで、「ドッジボールをしたい」と思う子どもが集まって、学年関係なく遊んでいました。みんながきょうだいみたいな、そんな四小の仲間って、素敵だなと思って写真を撮りました。これから、コロナが落ち着いたら、みんなと遊ぼうもやってみたいものです。

